

平成30年度 算数科授業の略案 (6学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
6月1日 (金) 2校時	分数のかけ算	分数のかけ算を考えよう
本時のねらい (4 / 1 2) ○真分数をかけると、積は被除数より小さくなることを理解する。		
評価規準 考 1を基準とした乗数の大小に着目して、被乗数と積の大小関係について、数直線を用いて考え、説明している。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
<b>【導入】</b> 10 : 40	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
<b>【展開】</b> 問題提示 10 : 42  課題把握 ・問いの共有 10 : 45  ・シラバス 10 : 48 ・言語わざ  自力解決 集団解決 ・班学習  ・全体学習 11 : 02  ・考察 11 : 12  まとめ 11 : 15	1 問題を読む。 1 mの値段が120円のロープがあります。このロープ $\frac{1}{3}$ m、 $\frac{2}{3}$ mの代金はそれぞれ何円ですか。 ○答えが120円より大きくなるか、小さくなるか予想しましょう。 ○前の時間と違うところはどこですか。 ○立式するとどうなりますか。  2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         かける数の大きさと積の大きさの関係を数直線や言葉を使って説明しよう。                     </div> (一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り(3分)) 「数直線を使って説明する」「算数用語を使って説明する」  3 計算の答えの求め方を考える。 ○数直線で考えてみましょう。 ○少数の場合と比較して考えてみてください。  4 考えたことを説明する。 ○分数では真分数をかけたときはかけられる数(120)より小さくなる。 ○1より小さい数をかけたとき、答えは数直線で120より左にあるから小さい。  かける数<1のとき・・・積<かけられる数 かける数=1のとき・・・積=かけられる数 かける数>1のとき・・・積>かけられる数  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         分数をかける計算でも1より小さい数をかけると積はかけられる数より小さくなる。1より大きい数をかけると積はかけられる数より大きくなる。                     </div>	かけられる数 かける数 1あたり量 いくつ分 全体の量 1より大きい 1より小さい   ハンドサインチェックを行い、見通しが持てるようにする。   考 1を基準とした乗数の大小に着目して、被乗数と積の大小関係について、数直線を用いて考え、説明している。(ノート・発言)
<b>【終末】</b> 適用問題 ふりかえり 11 : 20	5 適用問題に取り組む。  6 学習したことを振り返る。	